

第 52 回 理事会議事録

特定非営利活動法人オリーブの家（場所 津山市中央公民館 岡山県津山市大谷 600）

2022 年 9 月 10 日(土) 午後 13 時 00 分～理事会を開催した。

当団体の理事総数 7 名

出席理事 7 名

山本康世、浅野肇之、森内忍

國吉和美、都築真敏、服部みさと、山本礼知

出席正会員 4 名

砂子 浩、渡邊泉月、武部秀一、小西竣也

出席正会員(オンライン) 1 名

米森 千尋

出席監事（オンライン） 野坂和夫

以上のとおり理事の過半数以上が出席及び欠席者からは委任状を受理したので、理事長山本康世が議長となり、開会を宣し議事に入った。

議案 当団体の活動報告及び今後の活動予定について

先月からの活動報告及び今後の課題、予算案、活動の広報について協議、検討を行った。

概要は次のとおりである。

(1)活動報告事項

○会員数、寄付金報告

・2022年度（9月分）

賛助会費 1口 3,000円

寄付金 70件 259,568円

READYFOR 継続 8月 54件 114,000円

シンカブル 11件 37,106円

今年度累計（4 - 3月分）

寄付金 431件 3,804,088円 正会員個人 20口 100,000円 賛助会員 3口

○相談者数報告

・2022年度（2022年9月）

DV被害 女性 12件 男性 5件

DV加害 男性 0件

貧困母子家庭 計 5件

ストーカー被害 計 1件

行政機関団体その他 計 10件

○保護人数及び保護依頼状況(2022年9月)

保護依頼 計 5件 退所 1名 継続 4名 新規 4名

保護 計 8名（同伴児童含む）（詳細は別紙参照）

(2)主な事業の課題と予算の審議事項

1. 一時保護シェルター運営について

・今回理事会に初参加の方も居るため下記内容を再度確認した。

業務負荷軽減のため、シェルター入所者とのコミュニケーション削減を始めた。相談担当では共有しているが理事会出席者にも再度共有。

- ① 外出する際、他者とコミュニケーションを取らない場合は、LINE 連絡不要とした。
発達障害の方は、別途絵文字を含め、対応を柔軟にしている。
 - ② シェルター入所者との契約書文面をアップデートした
 - ③ シェルターが利用できる行政サービスあり
⇒リサイクルセンター（リサイクルプラザ）を活用する等
 - ④ 業務マニュアルも改善中
 - ⑤ シェルター入所・退所時のボランティアを募っていく予定
⇒新たに8月から新たに相談員が加わり、さらに業務マニュアルもアップデートされた。
- ・物件売買を検討し、ありき不動産に打診していた件で、緊急で保護する女性がいたため、いったん保留にした。他の不動産にも査定をお願いする。9月の中旬に事務局の職員とボランティアスタッフで物件の清掃を行い、無事綺麗になった。
 - ・周知の方法について
⇒ファイナンシャルプランナーの杉原さんが一部協力してくれることに。
 - ・シェルター入居者への食糧及び生活品等の支援
寄付によるふるさと納税返礼品での食料支援継続中
岡山 NPO センターを通じての食糧寄付
ライオンズクラブ、支援者（一般）からの食糧寄付
Amazon みんなの応援プログラムで生活用品、子ども用日用品など寄付依頼
 - ・シェルターの現状について
満室。今月、居住支援を行い1名が退所された。
改修が必要なシェルターは、今後固定費をどのようにしていく必要があるのかを再度検討していく。→1人部屋の必要性。

2. JR 西日本あんしん社会財団と福武教育文化振興の助成事業について

- ・9月3日（土）にサンビーチ岡山でナラティブセラピーを実施。講師には NPO 法人 そーる理事長を招いた。動画撮影がメインであったが、西日本豪雨の体験をもとに非常に有益なお話を聞く事ができた。
- ・9月10日（土）には同様の内容を津山中央公民館で開催した。講師には岡山 D-WAT として西日本豪雨の際に支援に行かれた武部さまを招き、福祉の視点からできる事や災害とひとくくりせず、そのタイミングで自分は支援できるのか、ニーズはあるのか等しっかりと対話の必要性についてお話していただいた。
⇒参加者の中には、「災害支援だけでなく、普段の生活の中でもナラティブセラピーを活用し、傾聴していきたい」と話してくれる参加者もいた。

- ・9月10日(土)に福武教育文化振興の助成事業として、地域の児童民生委員や支援者と一緒に地域の事例について話し、未然に防ぐためには、どのような体制を構築していく事について検討した。

3. DV 被害者セーフティーネット強化パイロット事業

(1) 今後、倉敷、県南の業務、SNS の取り組みを強化

(2) カンファレンス実施

(ア) DV 被害のマニュアル冊子を作り配布する

- ① 現状、予防・コミュニケーションに関しての情報が不十分。なので、そこを強化したようなマニュアル冊子を作成予定。
- ② 現段階は、コピーの様なもの。今後は、我々のデータも反映したもので、もっとちゃんとした感じの冊子を作成し配布したい。
- ③ 個人に向けて、色々な DV のタイプに合わせた個別の HOW TO を記載したものも考えている。→個別のプログラムとして提供。また、プログラムを体験した人には、FB をもらい、効果検証を行う。

※現在に、相談窓口の状況や11月13日に行うカンファレンスの状況について確認した。チラシを作成し、行政や支援団体などにお知らせを行っていく予定。

4.その他

- ・9月26日に県庁男女共同参画青少年課3名、保健福祉部子ども家庭課2名、岡山県議会議員とオリーブの家の代表で意見交換会。
- ・インターンについて岡山県立新見大学の学生さんが2名来る予定。(NPOセンター)5日間の予定は決まっており、セミナーや意見交換会に同行する予定。
- ・9月2日に相談員のオンライン勉強会を実施。
- ・セミナー(津山市青年部JC)に参加
⇒今後のセミナーでは、2か月前から告知を出していく
- ・校外学習(キッザニア)
⇒台風の影響で延期(10月10日)になった。REDYFORへの報告済み。

(下記事項については全員で確認及び作業)

○奇数月に名簿のチェック

○寄付者への領収書・文章送付は、発生次第随時行う(Ready for 以外も)

○事務所での整理整頓、書類整理等の課題については、随時各担当者主体に行う

☆次回理事会開催予定☆

日 時 2022年10月30日(日) 午後13時30分～午後15時00分

場 所 特定非営利活動法人オリーブの家 事務所

理事長、理事及び会員により当団体の今後の活動方針の協議を執り行った。事業課題と予算及び資金調達について話し合い、その承認の可否につき審議した結果、以下のとおり全員一致をもって承認可決した。

記

今後の活動予定及び方針等について、承認する。

以上をもって議事を終了したので、議長は午後14時00分に閉会を宣した。

上記の決議を明らかにするため、この議事録を作成し、議長及び本会議で選出された議事録署名人2名が以下に記名押印する。

2022年9月10日

特定非営利活動法人オリーブの家 理事会

議長 理事長 山本 康世



出席理事 國吉 和美



同 服部 みさと

